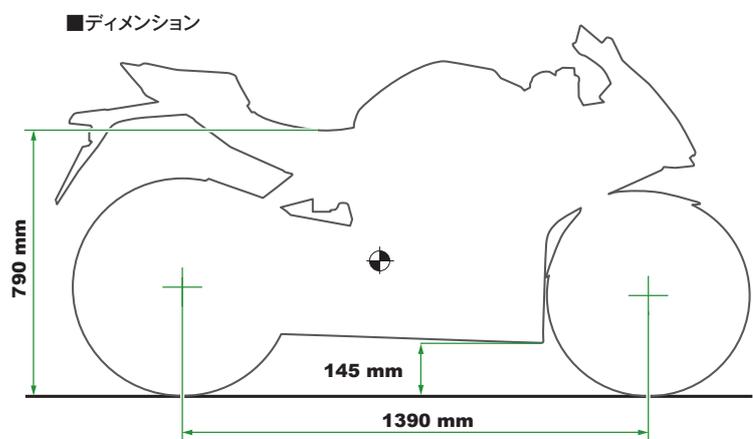


CBR250RRの車体のねらいは

優れた動力性能を安定して引き出せる操縦性

CBR250RRでは、スタイリングスケッチの段階から開発チーム全員で「速さを伝える車体骨格」を目指してゼロから車体構成を検討しました。そして、しなやかで強い車体骨格により、“RR”の名にふさわしい操縦フィールを実現しました。

車体諸元として、1390mmのホイールベースを与えることにより、フロントタイヤの接地感を得ながら安定性と軽快なハンドリング特性を実現しました。



●ライディングポジション

走る姿でも独自の存在感を印象づけるライディングポジションは、ライダーと車体が一体となり速さを見せるスーパースポーツらしさをねらいつつ、積極的な車体コントロールのしやすさを最優先するため、以下の設定としました。

- ・タンク後端からシート先端部を絞り込むことで、ニーグリップのしやすさと良好な足着き性に寄与。
- ・ハンドルはトップブリッジの下側に
取り付けたセパレート式を採用。
- ・ダイレクトな操作感を持たせた軽量
バックステップを採用。

これらによるスポーティーなライディングポジションは、ライダーを走りに集中させ、軽快な操縦性とあいまって“RR”のみが到達できるファンライディングの領域に誘います。

